

SB5X「V1.0」プログラムにおける製品仕様と未対応状況

B+COM SB5X は、音楽やナビ音声を聴きながら会話ができる「聴きトーク」機能を搭載しており、非常に快適で自然に音声を聴きながら会話ができるようになっています。

また、SB4X までとは全く異なった設計のため、SB4X までと同等の動作にはならない状況となります。以下は、SB5X 初期出荷プログラムバージョン、「V1.0」に関する今現在の製品仕様と未対応状況をお知らせ致します。

なお、下記問題を改善したプログラムについては、対応プログラムが完成次第、順次アップデートページにてアップデートプログラムを提供予定です。

製品仕様

●【聴きトーク】中の、インカム通話とデバイス音声のボリューム調整について

【聴きトーク】中はデバイス音声のみリスニング時に比べ、デバイス音声は少し小さくなります。(声が良く聴こえるバランスに調整されます) また、SB5X 側でインカム通話音声とデバイス音声を個別に音量調整することができません。

※一部のデバイス機器では、デバイス側の音量調整で、両音声のバランスを調整する事が可能です。

※iphone 等の iOS はデバイス側での音量調整をすると SB5X 側ボリュームと連動する事から、両音声のバランスを調整する事ができません。

●携帯電話、スマートフォンの動作確認について

SB5X と携帯電話、スマートフォンに関する動作においては従来のモデル (SB4X/SB213.EVO 等) と動作結果に差異が発生する可能性が御座います。携帯電話、スマートフォンに関する動作確認に関しましては、WEB にて随時更新予定です。

●多人数通話について

インカム通話の音声は、1対1の2人通話より、3人、4人通話となるに従い、音質劣化および音声の小音化、通信距離の短縮、接続不安定等の症状の発生頻度が高くなります。

未対応状況

●多人数通話について

説明書に記載のある SB5X でのブリッジ接続による多人数通話機能は、接続はできるものの動作不安定となります。また、SB4X を交えた場合は、SB4X を「モード B」(OS2.0 対応プログラム)にて運用されると安定性は高まります。

B+COM Station や Media Server と接続する際、SB5X 側から発信して接続すると、Station や Media Server の電源が落ちてしまいます。

●インカム通話について

インカム通話開通時、着信音が出来た後から約 5 秒前後マイクの音声が入力されず、接続相手に聴こえない場合があります。

●オートグループコール

チェーン方式によるグループ通話を実施する際のコマンド【オートグループコール】操作は未対応となっております。

●SB5X 操作によるオートコネクト、マニュアルコネクトについて

SB5X はペアリング済みの機器に対して、オートコネクト (自動接続)、又はマニュアルコネクト (手動接続) にて Bluetooth 通信の接続を致します。しかし、一部の機器において再接続が不完全な状態になり、ご使用できない場合が御座います。

※確認機器 ・ YUPITERU ATLAS MCN43/45si (地図データ未更新版)

→ペアリングしても再接続ができない為、その都度リセット、及びペアリングをして接続

・ YUPITERU ATLAS MCN43/45si (地図データ更新版)、MCN46si →デバイス側の手動接続にて再接続

・ DAYTONA MOTO GPS RADER/LCD →デバイス側の電源 ON 時のオートコネクトにて再接続

●ハンズフリー (HFP/HSP) 音声出力機器を使用した【聴きトーク】について

インカム通話中にハンズフリー音声出力機器を使用した場合、そのデバイスの音声を受信する事ができません。また、受信できなかった事により、デバイス側が送信完了できず、デバイス側の動作、及び Bluetooth 通信が不安定になります。

※確認機器 ・ GARMIN ZUMO660 / 550 ※および同モデルメーカー OEM 品 (BMW、Honda、Harley Davidson)

・ DAYTONA MOTO GPS RADER / LCD

●オーディオ音声に関する音質について

一部の楽曲や音域について音が割れる場合があります。

●八重洲無線 Bluetooth 対応無線機「FTM10S」、「VX-8」(BU-1/2) について

SB5X とペアリング (初期登録) ができず、ヘッドセットとして運用する事ができません。